

参加無料・要申込

相模原市 令和7年度 栽培技術勉強会

栽培に必要な 資材とのつきあいかた

作物と肥料と土 ～ミネラルの必要性、土との関係性を知る～

日時

2025年

11月28日 金 14:00-16:30

(13:30より受付開始)

会場：サン・エールさがみはら第1研修室

栽培に必要な様々な資材との付き合い方を考えます。栽培過程のどのタイミングでどんな資材が有効なのか。必要な量をみきわめて適切に使うためには。作物との相性や、調達方法は？

講師には、慣行栽培と有機栽培を行き来しながら資材を減らしバランスの良い農業経営をされている石綿薫さん、江戸時代から続く有機肥料ブランドで知られるイノチオプラントケア株式会社の佐々木剛さんをお迎えします。有機栽培が未経験の方でもご参加いただけますので、お気軽にお申し込みください。

講演① 石綿 薫 Happy Village Farm

「作物と肥料と土 ミネラルの必要性、
土との関係性を知る」

資材活用の基本的な考え方、慣行栽培のなかに有機栽培技術を取り入れる最初の一步やそのメリット、注意点なども学んでいきます。

講演② 佐々木 剛 イノチオプラントケア株式会社

「有機質肥料と土づくり」

有機質肥料をこれから使ってみたい方へ、その魅力や特徴、土づくりの効果、使い方のコツについて肥料会社ならではの豊富な情報とともに学びます。

お申し込み

右記のQRコードよりフォームに必要事項をご記入のうえ、お申込みください（定員100名・先着順）

生産者の方、農大の学生の方、農業を学んでいる方、自治体の職員の方等、どなたでもお気軽にご参加ください。



会場：サン・エールさがみはら（第1研修室）

相模原市緑区西橋本5-4-20

JR横浜線・JR相模線・京王線橋本駅南口から徒歩10分

TEL 042-775-5665

※セミナー内容に関する会場へのお問い合わせはご遠慮ください。



相模原市のこれまでの取り組みについて

相模原市では国の「みどりの食料システム戦略」の策定を受け、令和4年度から有機農業産地づくり推進事業（いわゆるオーガニックビレッジ）を活用し、有機農業の推進に向けた取組をスタートしています。その一環として、有機栽培に取り組む実証圃場を題材とした勉強会を実施し、土づくりなどの専門家をお招きして、有機や慣行といった農法の違いに関わらず実践できる、環境負荷を低減した栽培技術について学んできました。今回は令和7年度の最初の勉強会となります。

講師プロフィール

石綿 薫氏 (Happy Village Farm)

1971年茨城県生まれ。トマト等の育種を担当した種苗会社勤務を経て、2002年～2014年（公財）自然農法国際研究開発センターにおいて、研究員として有機栽培向けの品種開発、農薬を使用しない病虫害防除の研究などを手掛ける。2015年、長野県松本市で就農。トマトを中心とした栽培に勤しむ傍ら、幅広い知識と独自の視点を兼ね備えた講演会を全国で行なっている。著書に『自家採種入門－生命力の強いタネを育てる』



佐々木 剛氏 (イノチオプラントケア株式会社)

1970生まれ。岐阜大学農学部卒業、岐阜大学大学院農学研究科修了。2000年12月、川合肥料株式会社入社。有機原料を使用したボカシ肥料の開発に従事し、2023年4月、イノチオプラントケア株式会社との合併に伴い、社名変更。肥料開発部長として現在も川合肥料ブランド製品の開発製造に携わる。



主催：相模原市 / セミナー運営：一般社団法人 次代の農と食をつくる会
東京都港区赤坂3-19-1 東京農村ビル4F 電話：050-8893-0159（平日10-17時）
info@jidadainokai.com ※できるだけメールでのお問い合わせにご協力をお願いします。